

# DOC療法(胃)

【対象症例】

切除不能・再発胃癌

【登録診療科】消化器外科、外科

【治療計画】

順番	薬剤名	推奨投与量	投与時間	投与日
内服①	アプレピタント	125mg	化学療法施行1～1.5日前	day1
①	デキサメタゾン	6.6mg	30分	day1
	グラニセトロン	3mg		
②	ドセタキセル	60mg/m <sup>2</sup>	60分	day1
	ブドウ糖	250mL		
③	生理食塩水	50mL	フラッシュ	day1
内服①'	アプレピタント	80mg	朝食後	day2,day3
内服②'	デキサメタゾン	8mg	朝、昼食後	day2,day3,day4
【投与スケジュール】1コース 21日間				

# DOC療法(胃)

【対象症例】

切除不能・再発胃癌

【登録診療科】

外科

## 【治療計画】

順番	薬剤名	推奨投与量	投与時間	投与日
内服①	アプレピタント	125mg	化学療法施行1～1.5H前	day1
①	デキサメタゾン	6.6mg	30分	day1
	グラニセトロン	3mg		
②	ドセタキセル	60mg/m <sup>2</sup>	60分	day1
	ブドウ糖	250mL		
③	生理食塩水	50mL	フラッシュ	day1
内服①'	アプレピタント	80mg	朝食後	day2,day3
内服②'	デキサメタゾン	8mg	朝、昼食後	day2,day3,day4

【投与スケジュール】 1クール 21日間

## 【禁忌】(必ず確認してください)

- ・重篤な骨髄抑制のある患者
- ・重篤な感染症を合併している患者
- ・発熱を有し感染症の疑われる患者
- ・本剤又はポリソルベート80含有製剤に対し重篤な過敏 症の既往歴のある患者
- ・妊婦又は妊娠している可能性のある患者

## 【休薬・中止規定】

- ・投与当日の好中球数が2000/mm<sup>3</sup>未満

## 【減量基準】

- ・臨床検査値、患者の状態を観察し、減量の必要性が認められた場合は減量の目安に従って減量してください
- ・減量は通常、1段階ずつ行い、50mg/m<sup>2</sup>下は休薬としてください

初回投与量	1段階減量	2段階減量
70mg/m <sup>2</sup>	60mg/m <sup>2</sup>	50mg/m <sup>2</sup>
60mg/m <sup>2</sup>	50mg/m <sup>2</sup>	休薬

## 【注意事項】

- ・初回、および2回目に過敏症を生じることがあるのでモニタリングが必要
- ・過敏症状は投与開始から数分以内に起こることがある
- ・浮腫や神経毒性は蓄積投与量(総投与量400mg/m<sup>2</sup>)が増加すると発生頻度が高くなる

## 【患者の緊急受診(連絡) 事項】

- ・38℃以上の発熱
- ・急な嘔気・嘔吐
- ・身の回りのことができない程の倦怠感
- ・歩けなくなるようなめまい時
- ・食欲不振が長く続くとき
- ・長く続く空咳とひどい息切れ
- ・物を持てない、歩けないような手足のしびれ

【緊急時連絡先】イムス三芳総合病院(夜間:緊急連絡先、日中:外科外来)

GradeはCTCAE v 4.0に準ずる

プロトコル開始年月日

2017年05月01日

プロトコル責任者

外科 三原 良明